

「もうすぐ2年生」
～わくわく学校しょうかいプロジェクト～

| | |
|---------|------------------|
| 学年・教科 | 第1学年・生活科 |
| 学習テーマ | 甲山小学校を紹介しよう |
| 関連 SDGs | 11 住み続けられるまちづくりを |

単元情報

(1) 単元計画の概要

本校では、学校教育目標を「共に学び、進んで挑戦、思いやりいっぱい甲山っ子」とし、様々な教育活動に取り組んでいる。

第1学年では、来年度入学する甲山めぐみ認定こども園の年長児の小学校生活を楽しみに思う気持ちや不安に思う気持ちに寄り添い、甲山小学校のことを紹介する単元を設定した。入学してからの自分たちの成長を振り返るとともに、新1年生が安心して入学できるようにするために、何をどのように紹介すればよいかをグループで協働的に考え、相手意識を持って表現する知識・技能を身に付けさせたい。

(2) 育成したい資質・能力

【自発性】

- ・自ら課題の進捗状況を管理し、発表に向けて継続的に取り組む。
- ・新1年生にとって分かりやすい発表になるように、試行錯誤しながら粘り強く学習に取り組む。

【コミュニケーション能力】

- ・自分の伝えたいことを相手意識を持ち、年長児に正確に分かりやすく伝える。
- ・他グループや校内の先生からのアドバイスを聞き、相手が伝えたいことの意図を理解する。

(3) 単元の目標

入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことが分かるとともに、これまで生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、進級する喜びやこれからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようになる。

(4) 他の単元との関連

- ・学校行事「入学説明会」(1月)
- ・国語科「ききたいな、ともだちのはなし」(5月・9月・1月)「こんなことがあったよ」(7月)
- ・生活科「いくぞ!がっこうたんけんたい」(5月)

児童の実態

(1) 学級（学年）の雰囲気

ペアトークやグループトークに意欲的に取り組むことができる。グループでの活動の際には、自分たちで順番を決めて意見を出し合うなど他者のことを考えながら学習できる児童が多く、温かい雰囲気の中で学習をすることができている。

(2) 資質・能力に係る状況

1学期に行った生活科「いくぞ！がっこうたんけんたい」の学習では、グループごとにインタビューしたい先生を決め、質問や役割を考えて実行した。インタビューしたことを、ロイロノートを活用しプレゼンにまとめ発表した際には、写真と短い言葉で分かったことを表現しようとする姿が見られた。ICTの操作にも慣れてきており、写真を撮影したり Google スライド等に写真を挿入したりすることができる。

単元指針

(1) 単元の目標を達成するための指導の工夫

(1) プロジェクト型アプローチの視点

- ①「この1年間で成長したこと」という問いに、様々な視点から向き合っていく。
- ②入学前の楽しみな気持ちや不安な気持ちを思い出し、「新1年生のために何ができるか」を考えていく。
- ③プロジェクトの成果を年長児に紹介することで、地域社会に学習成果を還元させる。

(2) 資質・能力の育成に関わる視点

自分たちの成長を振り返らせることで自分の成長に自信を持たせながら、実際に、甲山めぐみ認定こども園の年長児に学校紹介をするという単元のゴールを設定することで、児童が目的意識を持ち進んで学習に取り組んでいく自発性を養う。

他グループにアドバイスをしたり、校内の先生にアドバイスの依頼をしたりする活動を設定することで、相手に応じて自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いて内容を理解したりするコミュニケーション能力を育成すると共に、気付きの質の向上を図る。また、情報を発信する相手を年長児と設定することで、より情報を分かりやすくするために写真を活用したり、分かりやすい言葉を使ったりするなど相手に応じた表現のスキルを身に付けさせる。

(2) 評価規準

| 【知識・技能】 | 【思考・表現・判断】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|--|--|--|
| ①自分が大きくなったこと、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 ②相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気付いている。 | ①過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長を捉えている。 ②これまでの体験を基に、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。（コミュニケーション能力） | ①知りたいことに合わせて、必要な手がかりを見つけたり集めたりしようとしている。 ②自分たちの学校生活を伝えたいという思いをもち、進んで触れ合い交流しようとしている。（自発性） |

| (3) 質問 | |
|---------|---|
| 本質的な問い | 世羅をもっと元気にするためには？ |
| 単元を貫く問い | この1年間で成長したことを伝えていくには、なにができるだろう。 |
| 個別の問い | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生になってできるようになったことは何だろう。 ・1年前の自分たちはどんな気もちだっただろう。 ・新1年生のために何ができるだろう。 ・どんなことを伝えたらいいかな。 ・どうやって伝えたら、新1年生に学校のことが伝わるかな。 ・どんなことに気を付けてまとめたらいいかな。 ・どうすれば、もっと分かりやすくなるかな。 ・上手くいったことと、もっとこうすればよかったことは何だろう。 ・他に成長したことを伝えたい人は。 ・どんな成長を家族に伝えたいかな。 ・成長を家族に伝えるには、どうすればいいかな。 ・家族の人からどんな感想をもらいましたか。 ・上手くいったことと、もっとこうすればよかったことは何だろう。 |

学習活動の構想

| 学習段階 | 学習活動 (Q 内容質問 ・ 生徒の活動) | 評価 | | 教材および ICT 活用 |
|---------------|--|--|----------------|-----------------|
| | | 評価規準 | 評価方法 | |
| 課題設定 (4時間) | <p>Q 小学生になってできるようになったことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の視点で Jamboard に情報を出し合い交流する。 ①勉強でできるようになったこと ②家でできるようになったこと ③学校生活でできるようになったこと <p>Q 1年前に自分たちは、どんな気もちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しみだったこと」と「心配だったこと」の視点で考えを交流する。 | <p>【思①】</p> <p>過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長を捉えている。</p> <p>【知①】</p> <p>自分が大きくなったこと、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。</p> | Jamboard | Jamboard |
| 情報収集 (2時間) | <p>Q 新1年生のために何ができるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに新1年生のために何ができるか考え交流する。 <p>Q どんなことを伝えたらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年前の自分たちの気持ちをふまえて、学習のことや学校生活のことで伝えたいことを考える。 ・伝えたいことについての情報を集める。 | <p>【主①】</p> <p>知りたいことに合わせて、必要な手がかりを見つけたり集めたりしようとしている。</p> | 行動観察 ワークシート | 写真 |

| | | | | |
|-------------------------|--|--|-----------------------------|-------------------|
| 整理・分析 (2時間) | <p>Q どうやって伝えたら、新1年生に学校のことが伝わるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループで、プレゼンや劇など自分たちの調べたことを伝える方法を考える。 | <p>【知②】 相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気付いている。</p> | 行動観察 | |
| まとめ・表現 (6時間) 【本時】 | <p>Q どんなことに気を付けてまとめたらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年長児に伝えるためには、どんなことに気をつけたらいいか考える。 <p>Q どうすればもっと分かりやすくなるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> リハーサルを行う。 他グループや校内の先生からアドバイスをもらい改善する。 | <p>【思②】 これまでの体験を基に、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。(コミュニケーション能力)</p> | 行動観察 Google スライド | 写真 Google スライド |
| 実行・振り返り (3時間) | <ul style="list-style-type: none"> 年長児に学校紹介を行う。 <p>Q 上手くいったことと、もっとこうすればよかったことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの活動を振り返る。 | <p>【主②】自分たちの学校生活を伝えたいという思いをもち、進んで触れ合い交流しようとしている。(自発性)</p> | Jamboard 自己評価シート | Jamboard |
| 課題設定 (1時間) | <p>Q 他に自分たちの成長を伝えたい人は。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年長児以外で、自分たちの成長を伝えたい人を考える。 | <p>【思①】 過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長を捉えている。</p> | Jamboard | Jamboard |
| 情報収集 (1時間) | <p>Q どんなことを伝えたらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> Jamboard で以下の視点で情報を出し合い交流する。 ①成長したこと ②そのために頑張ったこと | <p>【主①】 知りたいことに合わせて、必要な手がかりを見つけたり集めたりしようとしている。</p> | 行動観察 Jamboard | Jamboard |
| 整理・分析 (2時間) | <p>Q 成長を家族に伝えるには、どうすればいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やスライドなど自分が表現しようと思う方法を考える。 | <p>【知②】 相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気付いている。</p> | 行動観察 | |
| まとめ・表現 (3時間) | <p>Q 成長が伝わるものになっているかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やスライドなど自分が表現しようと思う方法で成長をまとめる。 | <p>【思②】 これまでの体験を基に、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。(コミュニケーション能力)</p> | 行動観察 成果物, Google スライド | Google スライド |

| | | | | |
|------------------|--|---|------------------|----------|
| 実行・振り返り (1時間) | <p>Q 家族からどんな感想をもらいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族からもらった感想を交流する。 <p>Q 上手くいったことと、もっとこうすればよかったことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jamboardで振り返りを交流する。 | <p>【主②】</p> <p>自分たちの学校生活を伝えたいという思いをもち、進んで触れ合い交流しようとしている。(自発性)</p> | Jamboard 行動観察 | Jamboard |
|------------------|--|---|------------------|----------|

本時の目標

もらったアドバイスを整理・分析し、自分たちのスライドや発表原稿の改善点を考えることができる。

【情報活用能力のめあて】

4 まとめ・表現

班で話し合い、もらったアドバイスを取捨選択し、よりよい考えを見出すことができる。

本時の学習内容

| 学習段階 | 学習活動 (Q 主な発問 ・ 児童の活動) | 教師の動き (指導上の留意点) | 評価規準 (評価方法) |
|--------------|--|---|--|
| 導入 (5分) | <p>Q どうすればもっと分かりやすくなるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを確認する。 ・他のグループからのアドバイスシートを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新1年生に伝えるためには、何に気をつければよかったかを確認する。 ・Jamboardでアドバイスシートを確認させる。 | |
| 展開 (30分) | <p>・アドバイスシートを見て、どのように改善すればよいか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid #000080; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足はべったん・背中はびん」だけでは、どんな姿勢か伝わらないから写真を入れたらいいと思う。 ・校長先生を紹介する時に、写真があったら分かりやすいと思う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の修正を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループを見て回り、必要に応じて問いかけを行う。 ・話し合いが終わったグループから、Googleスライドや発表資料の改善を行う。 | <p>【思②】</p> <p>これまでの体験を基に、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。(コミュニケーション能力)(行動観察・Googleスライド)</p> |
| まとめ (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートに振り返りを記入する。 ・振り返りの交流を行い、どのように改善していくか全体で共有する。 | | |

評価ツール

①自発性

| | S | A | B | C |
|--------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------|
| 自ら課題を見つける力、チャレンジする | 授業時間外にまで学びの機会を広げようとしている。 | 新たな課題を見出し、チャレンジしようとしている。 | 自分から学習の進み具合を考え、適切な課題を見いだそうとしている。 | 自分から適切な課題を見いだそうとしていない。 |
| 自ら学習の進捗管理をする力 | 根拠をもとに学習計画を立て、より効果的・効率的に学習を進めようとしている。 | ゴールをイメージして学習計画を立て、見直しをしながら活動しようとしている。 | ゴールをイメージして学習計画を立て、活動しようとしている。 | 自分で学習計画を立てて活動しようとしていない。 |

②コミュニケーション能力

| | S | A | B | C |
|--------|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------|
| 伝える能力 | 相手の表情や反応を踏まえたうえで、その場にあった伝え方ができる。 | 相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。 | 自分の意見を、根拠をもとに説明することができる。 | 自分の意見を説明することができない。 |
| 受け取る能力 | 相手の意見を引き出すことができる。 | 相手の意見を要約し、確認したり質問したりすることができる。 | うなずいたり相づちを打ったりするなど、相手の意見を受け止めようとしている。 | 相手の意見を受け止めようとしていない。 |

自発性・コミュニケーション能力ルーブリック【1年生】

| じはつせい | 3 | 2 | 1 |
|----------------------------|---|---|----------------------------|
| ンジする力 じぶんで見つけ、チャレンジする力 | あたらしいことをかんがえて、チャレンジしようとしている。 | どこまではっぴょうのじゅんぴができたかをかんがえて、今日なにをすればよいかかんがえようとしている。 | なにをかんがえていけばよいか見つけようとしていない。 |
| カ ゆうをすすめる力 じぶんですすめる力 | しん1ねんせいへのはっぴょうにむけて、よりよくなる場所を見つけながらかつどうしようとしている。 | しん1ねんせいへのはっぴょうにむけて、なにをしていけばよいかかんがえて、かつどうしようとしている。 | なにをすればよいかかんがえていない。 |

| コミュニケーションのうか | 3 | 2 | 1 |
|--------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------|
| つたえる力 | しん1ねんせいにつたわるときに気をつけて、かんがえをまとめることができた。 | じぶんのい見のりゆうもせつめいできる。 | じぶんのい見をはなすことができていない。 |
| うけとる力 | あい手のい見がわかって、しつもんしたり、かんそうをいったりできた。 | うなずいたり、はんのうしたりしながらあい手のはなしをきくことができる。 | あい手のはなしをきいていない。 |